

グリーン及び呼べるバスの料金設定に係るアンケート結果



コミュニティバス



オンデマンド交通
(呼べるバス)

※文中では「呼べるバス」と表示

1 アンケートの概要

(期 間)令和7年9月1日(月)～15日(月・祝)

(調査方法)アンケート依頼チラシを市内各戸に配付し、また、グリーン車内に掲出し、二次元コードからのWEB回答

(回 答 数)WEB回答：2,181件 紙等の回答：270件

総回答数：2,451件

(目的・項目)①グリーンの定額制(均一性)に賛成か反対か

②PSM分析による、グリーン及び呼べるバスの許容可能な価格範囲の算定

アンケート項目「安くてお得」、「少し高い」、「これ以上高いと乗れない」運賃

※FAX等による回答については、「適切だと思う運賃」について調査

③割引の必要性和その範囲

選択肢「小学生」、「中学生」、「高校生」、「65歳以上」、「75歳以上」

(参考) PSM分析について

【PSM分析について ※令和7年6月30日
市交通協議会資料より抜粋】

参考資料～PSM分析について～

1 PSM分析とは

- Price Sensitivity Measurementの略で、価格感度測定のこと
- サービス・商品の適正価格を検討したいときに特に用いる統計分析手法の1つで、以下の4つの質問をし結果を分析する
 - ① これ以上安いとサービスに不安を感じる運賃
 - ② 安くてお得だと感じる運賃
 - ③ 利用してもいいが少し高いと感じる運賃
 - ④ これ以上高いと利用できないと感じる運賃

※今回は3つの運賃に関する線と2つの
交点(妥協価格・最高価格)から幅
を算出する

2 分析イメージ

- グラフの交点から「最低品質保証価格」「妥協価格」「理想価格」「最高価格」を算出し、許容可能価格帯の範囲で価格を検討する

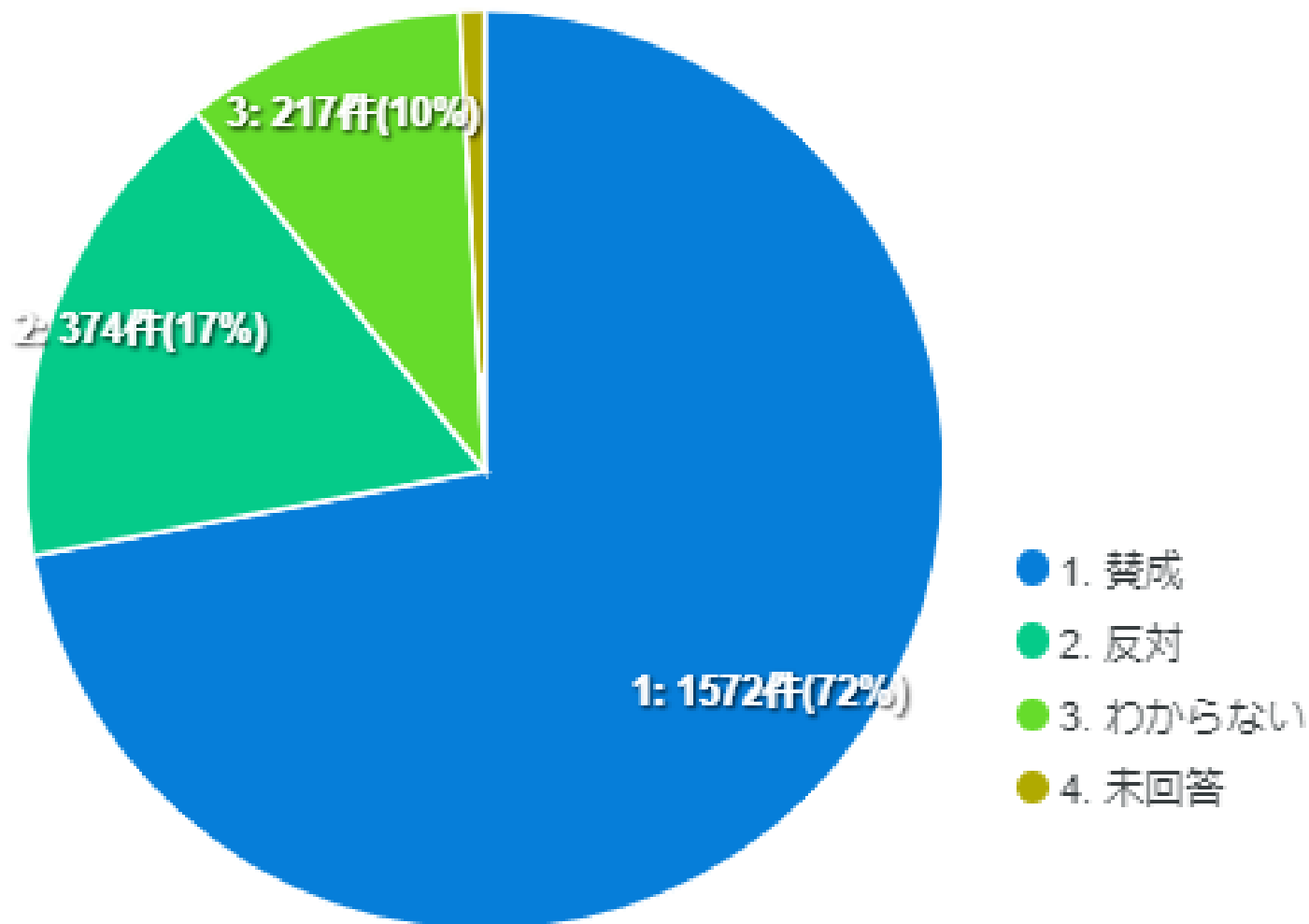
(例) 右のグラフの場合、許容範囲価格帯は210円～240円でこの範囲内で運賃を設定することが妥当である



2 アンケート結果について

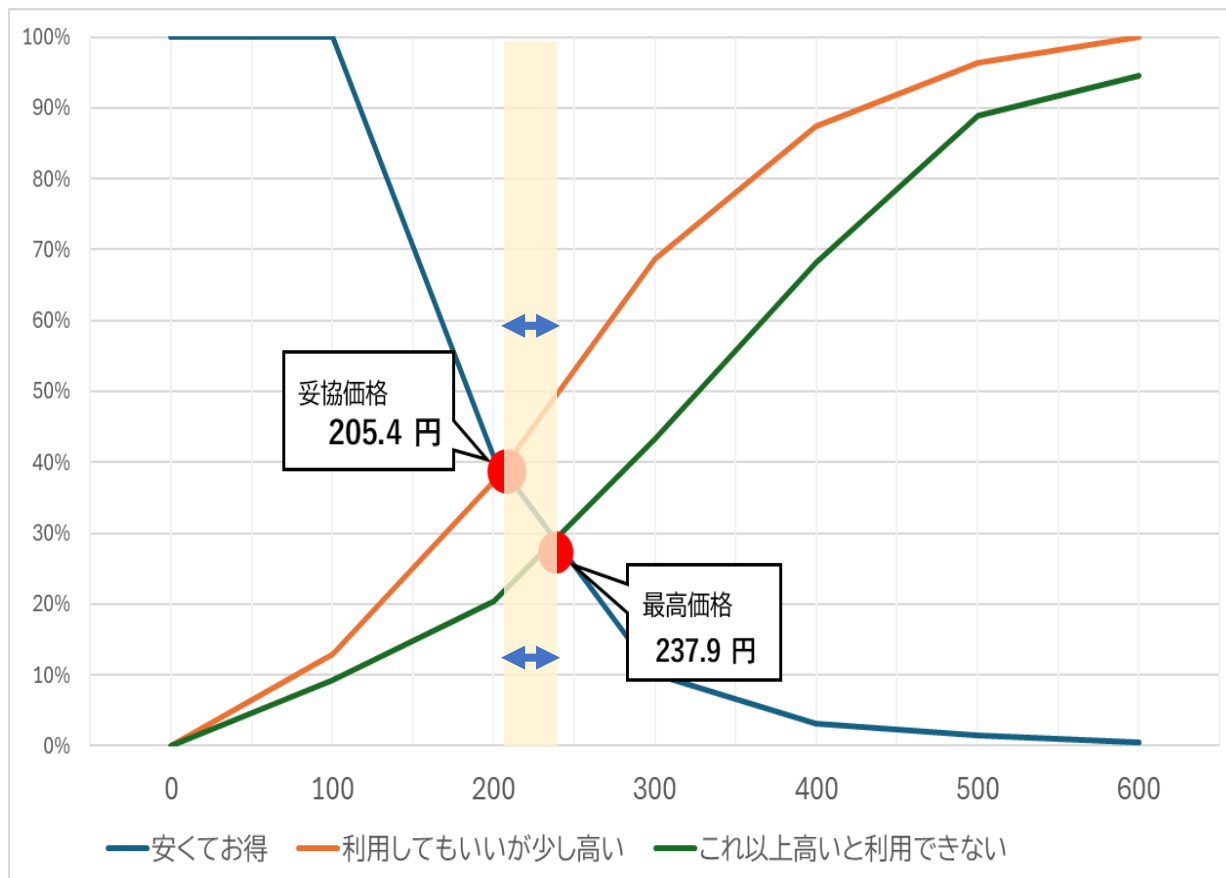
(1) 定額制（均一性）に賛成か反対か（WEB回答のみ）

- ・ 賛成：72%
- ・ 反対：17%
- ・ 分からない：10%
- ・ 未回答：1%



2 アンケート結果について

(2)コミュニティバスグルーンの料金設定に関する回答のP S M分析結果 アンケートの回答によるP S M分析の結果は以下のとおり。(WEB回答)



紙等の回答での「適切と思う金額」の平均

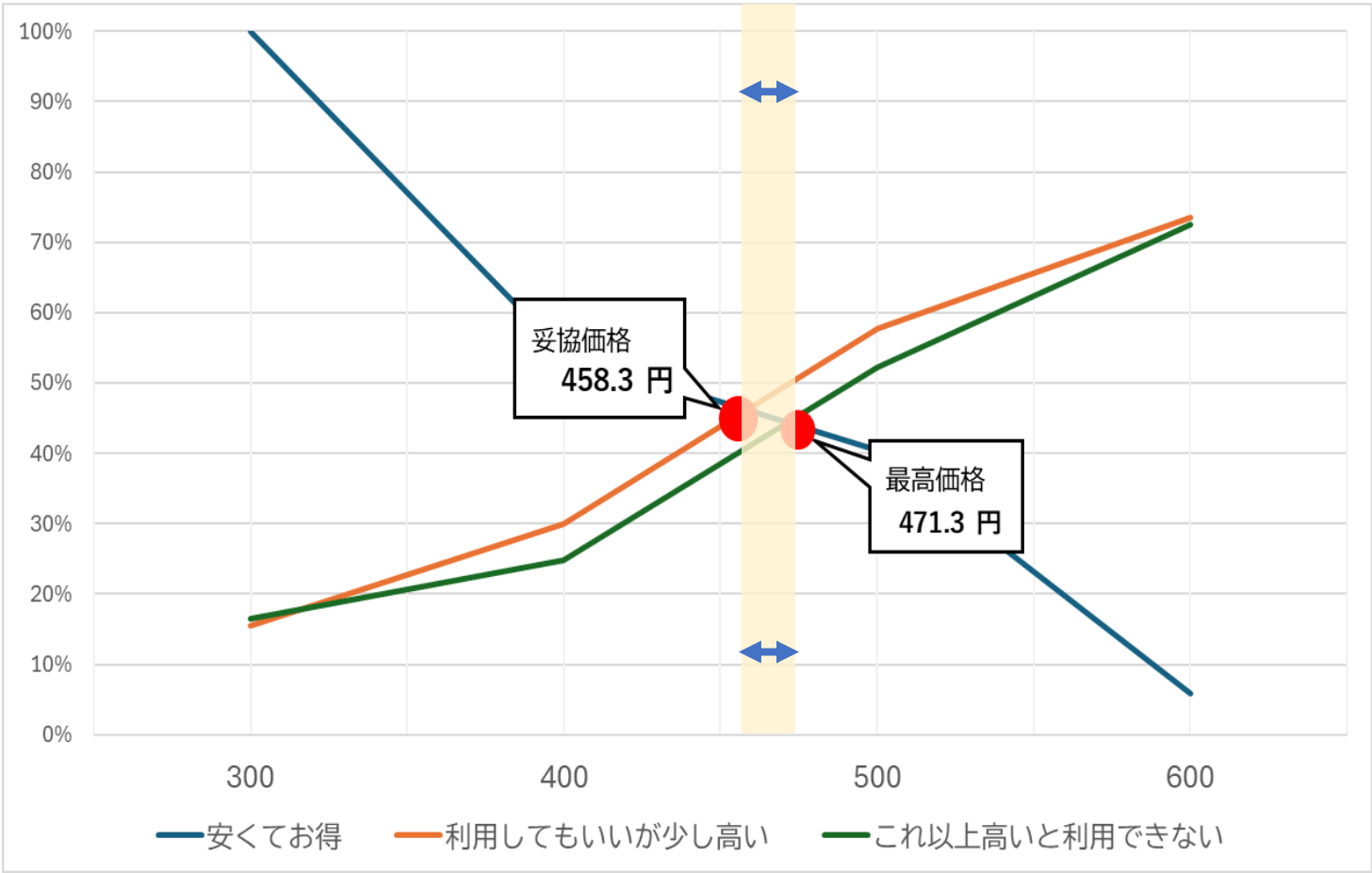
215円

(100円：37%、200円：33%、300円：18%、
400円：5%、500円：6%、600円：2%)

2 アンケート結果について

(3) 呼べるバスの料金設定に関する回答のP S M分析結果

アンケートの回答によるP S M分析の結果は以下のとおり。(WEB回答)



紙等の回答での「適切と思う金額」の平均

473円

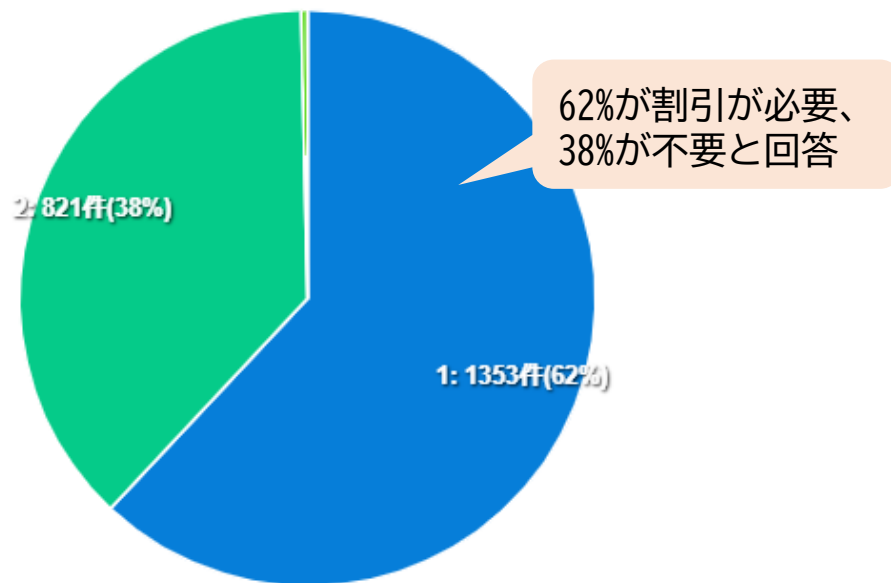
(300円：29%、400円：7%、500円：49%、600円：4%、
700円：1%、800円：5% 900円：5%)

2 アンケート結果について

(4) 割引の必要性とその範囲

○設問「割引の必要性」(WEB回答のみ)

- ・必要：62%
- ・不要：38%
- ・未回答：1%未満(7件)



○設問「割引が必要だと思う人」

- ・小学生：40%
- ・中学生：28%
- ・高校生：15%
- ・65歳以上の高齢者：24%
- ・75歳以上の高齢者：44%

※総回答数に対する割合
総回答数：2,451件

